



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名 協栄産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 水谷 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 板垣 政昭

TEL 03-3481-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	42,877	△6.6	133	—	△11	—	△156	—
24年3月期第3四半期	45,911	△6.0	△193	—	△295	—	△358	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △82百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △692百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△5.12	—
24年3月期第3四半期	△11.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	35,800	12,486	34.9
24年3月期	36,832	12,690	34.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,486百万円 24年3月期 12,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年3月期	—	2.00	—		
25年3月期(予想)				2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	△1.3	1,000	149.0	870	277.7	600	403.4	19.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	31,935,458 株	24年3月期	31,935,458 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,421,728 株	24年3月期	1,421,043 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	30,513,805 株	24年3月期3Q	30,515,638 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災後の復興需要や堅調な消費に支えられ、緩やかながらも回復傾向で推移していましたが、欧州経済の停滞、米国経済の回復鈍化、中国経済の減速など、世界的な経済減速懸念もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は428億7千7百万円、前年同期に比べて6.6%減収、営業利益は1億3千3百万円（前年同期営業損失1億9千3百万円）、経常損失1千1百万円（前年同期経常損失2億9千5百万円）、四半期純損失は1億5千6百万円（前年同期四半期純損失3億5千8百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 328億5千4百万円（前年同期比11.3%減）
- ・営業利益 5億1千6百万円（前年同期比30.4%減）

商事部門においては、前年同期と比較いたしますと、特に第2四半期以降の受注環境が厳しい状況で推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①半導体デバイス事業

半導体分野では、自動車関連は第3四半期には、国内での補助金の終了や中国での不買運動の影響があり、全般に苦戦いたしました。白物家電関連は海外エアコン向けが苦戦しましたが、全般としては堅調に推移いたしました。産業機関連等は、中国向け設備投資の減速等もあり低調となりました。

電子デバイス分野では、スマートフォン、車載向けの希土類磁石が堅調に推移いたしました。その他電子部品はパソコン及び周辺機器向けやデジタルカメラ等の需要の低迷により減速傾向となりました。

②電子材料事業

電子材料事業は、コネクタ関連はスマートフォン向けが堅調に推移いたしました。自動車向けが第3四半期は低調となりました。テレビ、パソコン、デジカメ向けは低調に推移いたしました。また半導体リードフレーム関連も低調に推移いたしました。

③FAシステム事業

産業メカトロニクス分野では、放電加工機、レーザー加工機などの設備機械は商談の先送り等により低調に推移いたしました。NC装置も主要ユーザーからの受注が低迷し低調に推移いたしました。

FA機器分野でも、エレクトロニクス関連の装置メーカーの投資の冷え込みの影響もあり低調に推移いたしました。

(IT部門)

- ・売上高 38億9百万円（前年同期比8.1%増）
- ・営業利益 1億1百万円（前年同期営業損失6千7百万円）

IT部門においては、低調であった前年同期と比較いたしますと、全般に回復傾向で推移いたしました。

なお、IT部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①ビジネスソリューション事業

建設関連システムは、大規模案件の受注やパッケージ製品の販売の効果が好調に推移いたしました。

開発に負荷がかかり利益面では第3四半期は苦戦いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は受注規模は小型化していますが、安定した受注を確保して推移いたしました。

サービス提供型ビジネスは、堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、電力関連向けは、大震災の影響で開発規模は縮小していますが受注は上向きで推移いたしました。その他のSIerからの受注は低調となりました。

②エンベデッドシステム事業

エンベデッドシステム系は、カーナビ開発は受注は堅調に推移しておりますが、顧客からのコスト面での要求が厳しく利益面では苦戦いたしました。通信制御装置の販売は低調であった前期と比較すると回復傾向で推移いたしました。専用装置システム開発と専用ボードシステムはやや低調に推移いたしました。

監視制御システム系は、主要顧客の内製化等の影響が続き苦戦いたしました。

③IC設計事業

IC設計事業は、新規顧客の開拓と新分野への進出を推進しましたが、十分な受注を確保するに至らず厳しい状況で推移いたしました。

(製造部門)

・売上高 62億2千9百万円 (前年同期比15.9%増)

・営業利益 3億4千万円 (前年同期営業利益2千2百万円)

製造部門においては、第3四半期も好調を持続いたしました。特に福島協栄株式会社が引き続き事業を牽引いたしました。

プリント配線板事業

相模原工場では、車載向けメタルコア基板が堅調に推移いたしました。モジュール基板はOA機器向けを中心に第3四半期にはやや減速いたしました。

福島協栄株式会社では、アミューズメント向けが引き続き好調に推移したため、第3四半期に車載向けが減少いたしました。全体としては好調を持続いたしました。

また海外で行っているフレキ基板ビジネスも好調に推移いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10億3千2百万円減少し、358億円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金22億1千5百万円の増加、受取手形及び売掛金33億3千7百万円の減少、繰延税金資産3億8百万円の減少等により、12億6千2百万円減少し、297億4千6百万円となりました。
- ・固定資産は、繰延税金資産2億9百万円の増加等により、2億2千9百万円増加し、60億5千4百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金12億1千5百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金19億9千5百万円の減少等により、30億6千6百万円減少し、177億3千3百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金22億2千5百万円の増加等により、22億3千8百万円増加し、55億8千万円となりました。

この結果、純資産は、2億4百万円減少し、124億8千6百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の34.5%から0.4ポイント増加し、34.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では平成24年10月29日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,855,086	8,070,403
受取手形及び売掛金	17,611,431	14,274,107
電子記録債権	79,167	97,938
商品及び製品	5,763,914	5,890,416
仕掛品	768,643	877,186
原材料及び貯蔵品	170,453	170,009
繰延税金資産	551,846	243,756
その他	220,691	130,226
貸倒引当金	△12,915	△7,865
流動資産合計	31,008,319	29,746,179
固定資産		
有形固定資産	2,647,692	2,612,877
無形固定資産	233,541	215,889
投資その他の資産		
投資有価証券	1,902,826	1,928,169
繰延税金資産	79,063	288,426
その他	1,074,065	1,116,627
貸倒引当金	△112,632	△107,527
投資その他の資産合計	2,943,322	3,225,694
固定資産合計	5,824,556	6,054,462
資産合計	36,832,876	35,800,641
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,875,068	11,659,949
短期借入金	2,888,672	3,023,540
1年内返済予定の長期借入金	3,370,000	1,375,000
未払法人税等	77,440	66,460
賞与引当金	258,796	127,819
工事損失引当金	117	19,904
その他	1,329,813	1,461,069
流動負債合計	20,799,909	17,733,743
固定負債		
長期借入金	2,000,000	4,225,000
繰延税金負債	338	356
退職給付引当金	654,160	586,204
役員退職慰労引当金	204,750	213,250
その他	482,755	555,952
固定負債合計	3,342,003	5,580,764
負債合計	24,141,913	23,314,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,470	3,120,235
利益剰余金	6,908,983	6,630,818
自己株式	△416,477	△416,330
株主資本合計	12,774,795	12,496,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,590	315,458
為替換算調整勘定	△388,423	△325,867
その他の包括利益累計額合計	△83,832	△10,409
純資産合計	12,690,962	12,486,133
負債純資産合計	36,832,876	35,800,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	45,911,213	42,877,130
売上原価	41,475,208	38,115,234
売上総利益	4,436,004	4,761,895
販売費及び一般管理費	4,629,708	4,628,140
営業利益又は営業損失(△)	△193,704	133,754
営業外収益		
受取利息	1,213	1,224
受取配当金	42,677	37,355
その他	55,719	61,301
営業外収益合計	99,609	99,881
営業外費用		
支払利息	126,431	118,446
為替差損	17,105	67,475
債権売却損	25,333	25,083
その他	32,109	34,278
営業外費用合計	200,979	245,283
経常損失(△)	△295,074	△11,647
特別利益		
固定資産売却益	1,089	18,884
災害損失引当金戻入額	29,480	—
特別利益合計	30,570	18,884
特別損失		
固定資産売却損	—	2,153
固定資産除却損	2,008	5,914
投資有価証券評価損	8,905	—
特別損失合計	10,913	8,068
税金等調整前四半期純損失(△)	△275,417	△831
法人税、住民税及び事業税	40,036	62,566
法人税等調整額	43,216	92,709
法人税等合計	83,252	155,276
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△358,670	△156,107
四半期純損失(△)	△358,670	△156,107

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△358,670	△156,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271,250	10,867
為替換算調整勘定	△62,967	62,555
その他の包括利益合計	△334,217	73,423
四半期包括利益	△692,887	△82,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△692,887	△82,684

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	37,041,107	3,499,975	5,370,130	45,911,213
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,267	24,493	3,455	34,217
計	37,047,374	3,524,469	5,373,586	45,945,430
セグメント利益又は損失（△）	742,646	△67,226	22,968	698,389

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	698,389
全社費用（注）	△892,093
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△193,704

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
（1）外部顧客への売上高	32,847,338	3,800,867	6,228,924	42,877,130
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	7,027	9,110	888	17,026
計	32,854,365	3,809,978	6,229,812	42,894,156
セグメント利益	516,885	101,916	340,767	959,569

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	959,569
全社費用（注）	△825,815
四半期連結損益計算書の営業利益	133,754

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。